

次のエンタープライズ バックアップソリューションに 欠かせない5つの必須条件



概要

データは組織のもっとも貴重な資産です。にもかかわらず、データのバックアップによって高コスト/高リスクのIT管理の問題が生じることが少なくありません。その理由は、バックアップソリューションが一般的に4～5社のベンダーによって提供され、老朽化したインフラストラクチャーの中で数十の異なる場所にサイロ化し分散しているからです。これが原因で、膨大なデータの断片化が進み、リカバリの低速化や、ダークデータが生じる結果となっています。次のエンタープライズバックアップとリカバリへの投資を検討する際に、以下の5つの必須条件を思い出すことで、企業は運用上の課題を克服し、最新のデータ管理に移行することができます。



1. ソフトウェア定義ソリューションでバックアップ運用をシンプルに

従来型のばらばらのバックアップツールは管理が複雑で、高コストでシステム停止を伴うアップグレードが必要です。単一機能製品が複数あると、ユーザーインターフェイス(UI)がバラバラで、個別に運用されるため、バックアップインフラストラクチャーの統一ビューを得ることができず、オンプレミス、パブリッククラウド、エッジに置かれたすべてのデータを一律に管理することはできません。そこで必要になるのは、多数の単一機能製をひとつの最新のプラットフォームに統合して更新し、単一のグローバルUIで簡単に管理できるソフトウェア定義のバックアップとリカバリソリューションです。操作が簡単で、無限のスケーラビリティを提供し、仮想、物理、クラウドネイティブ、SaaSのアプリケーション、従来/最新のデータベース、ストレージを含む、包括的なワークロードをカバーできるソリューションを探してください。



2. バックアップを瞬時にリカバリすることで、事業継続性を確保

今日の複雑なIT環境では、ダウンタイムは「あるかないか」ではなく「いつあるか」の問題です。24時間常時稼働しているビジネスにおいて、ダウンタイムが長引けば、企業の評判と収益の両方に悪影響が及ぶことになります。従来のバックアップ製品だけでなく、新しいバックアップベンダーの提供する製品でも、一度に数台以上の仮想マシン(VM)の迅速なリカバリをハンドリングできないものがあります。これは、ほとんどのバックアップソリューションが、データをリカバリする前に、複数のバックアップコピーに複雑なデータステッチング(リハイドレーション)を実行必要があるためです。加えて、レガシーシステムやクラウドなど複数のロケーションが原因で発生する大量データの断片化は、リカバリをさらに遅らせる原因となります。最新のバックアップソリューションの場合、リカバリが制約を受けることはありません。数百個ものVMやその他のデータセットを数時間や数日ではなく、数分でリカバリします。完全にハイドレートされたバックアップコピーを無制限に保持し、すべてのワークロードとロケーションにまたがる真のグローバル検索を行い、瞬時に大量のリカバリが行えるソリューションを探してください。

大量データの断片化の影響

- **チームの疲弊** - ITチームは大量データの断片化の複雑さに対処しなければならず、31%余分な時間を費やしている(業務時間が最大で年間16週間増えることに)
- **機会の損失** - 調査対象者の90%以上が、スタッフが二次データの作業から解放されることで、5年間で8～10%の収益増が見込まれると回答
- **コンプライアンスリスク** - 回答者の9割が、セカンダリデータの可視化に不安を覚えている
- **競争力の低下** - ほぼ半数が、この問題に対処できないことは不利益になると回答¹

”

2021年までに、50%の組織が、現在のバックアップアプリケーションを別のソリューションで補強するか、もしくは置き換えようとしています。²

¹ Vanson Bourne Study. "Secondary Data Market Study," November 2018.

² Gartner. "Magic Quadrant for Data Center Backup and Recovery Solutions," July 31, 2017



3. クラウドネイティブソリューションで運用の効率化と OpEx(事業運営費)の削減

ハイブリッドクラウドの導入（オンプレミスとパブリッククラウドでの本番アプリケーションの開発と実行）は、企業の新しい常態となっています。しかし、ITチームがパブリッククラウドでエンタープライズデータのバックアップやアーカイブを行おうとした場合、レガシーバックアップソリューションでは対応しきれないことに気づかれます。ほとんどがパブリッククラウド以前に導入されたもので、クラウドを考慮した設計にはなっていません。固定型のゲートウェイが必要であり、導入と管理に多額のコストがかかります。これに対して、最新のクラウドネイティブソリューションの場合、クラウドの拡張性とコスト効率を活用しながら、Amazon Web Services、Microsoft Azure、Google Cloudなどのクラウド内でデータとアプリケーションのバックアップと保護が行えます。S3をネイティブにサポートし、ハイブリッドクラウド上でのデータの移動を容易にするだけでなく、OpExに最適化されたBaaS (Backup as a Service) オプションを提供するソリューションを探してください。



4. ランサムウェアからバックアップデータとビジネスを保護

バックアップとリカバリソリューションは組織を保護するために設計されていますが、高度なランサムウェアの標的は今やバックアップに移ってきています。サイバー犯罪者はバックアップを見つけ出し、排除するようマルウェアを改変するなか、今年には11秒ごとに企業を攻撃すると予想されているこれらの脅威からデータを守るにはどうしたらよいでしょうか？ バックアップが標的になるのを防ぐ機能が組み込まれた最新のソリューションを使えば、データ保護はよりシンプルになります。単なるバックアップではなく、考え抜かれたデータ管理ソリューションは、侵入者がバックアップコピーに影響を及ぼすことを防ぎ、ランサムウェアへの支払いを行うことなく即座にリカバリできるようにします。イミュータブルな（変更不可の）ファイルシステムによって攻撃対象を減らすだけでなく、バックアップデータを積極的に監視し、異常がないかをリアルタイムで分析し、最悪の事態が発生した場合には、インスタントマシリストアを行って即座にビジネスを再開することが可能な自己防御型のソリューションを探してください。



5. 計画なしでディザスタリカバリに取り組む

GDPR、PCI、HIPAAなど、厳格さを増す政府や業界の要件に準拠することは、ビジネスアジリティを妨げるものではありません。しかし、バックアップに保存された情報が十分に可視化されていなければ、発見、保護、共有が困難なダークデータになってしまいます。最新のデータ管理ソリューションは、バックアップを高価な保険としてだけでなく、すべてのデータの上でアプリケーションを直接実行し、深い可視性を得ることが可能です。個人情報（クレジットカード番号、社会保障番号など）を簡単に見つけることができ、コンプライアンスの監査とタスクを軽減することができます。

最新のバックアップとリカバリで大量データの断片化の問題を解消

バックアップ環境が、コストとリスクのかかるIT管理の頭痛の種にならないようにする必要があります。新規の投資を検討する際には、バックアップソリューションとベンダーに対しより多くを要求するようにします。サイロ化されたレガシーツールに代えて、成長に応じて容易に拡張でき、クラウドとネイティブに統合されていて、そしてもっとも重要なこととして、データを活用して新たな洞察をもたらす、ランサムウェア攻撃からバックアップデータを保護するエンドツーエンドのデータ管理ソリューションを採用することです。

最新のバックアップとリカバリについては、[このバイヤーズガイド](#)をダウンロードしてご確認ください。

COHESTY



© 2021 Cohesity, Inc. All rights reserved.

©Cohesity, Inc. 2019. 無断複写・複製・転載禁止。この文書は情報提供のみを目的としており、Cohesity, Inc.ではあらゆる不正確さについて一切の責任を負いません。Cohesity, Inc.は、予告なしにこの出版物を変更する権利を留保します。法的事項の全文は[こちら](#)をご覧ください。©Cohesity, Inc. 2019. 無断複写・複製・転載禁止。この文書は情報提供のみを目的としており、Cohesity, Inc.ではあらゆる不正確さについて一切の責任を負いません。Cohesity, Inc.は、予告なしにこの出版物を変更する権利を留保します。法的事項の全文は[こちら](#)をご覧ください。